

小論文課題過去問 《一般選抜》

■小論文試験課題：

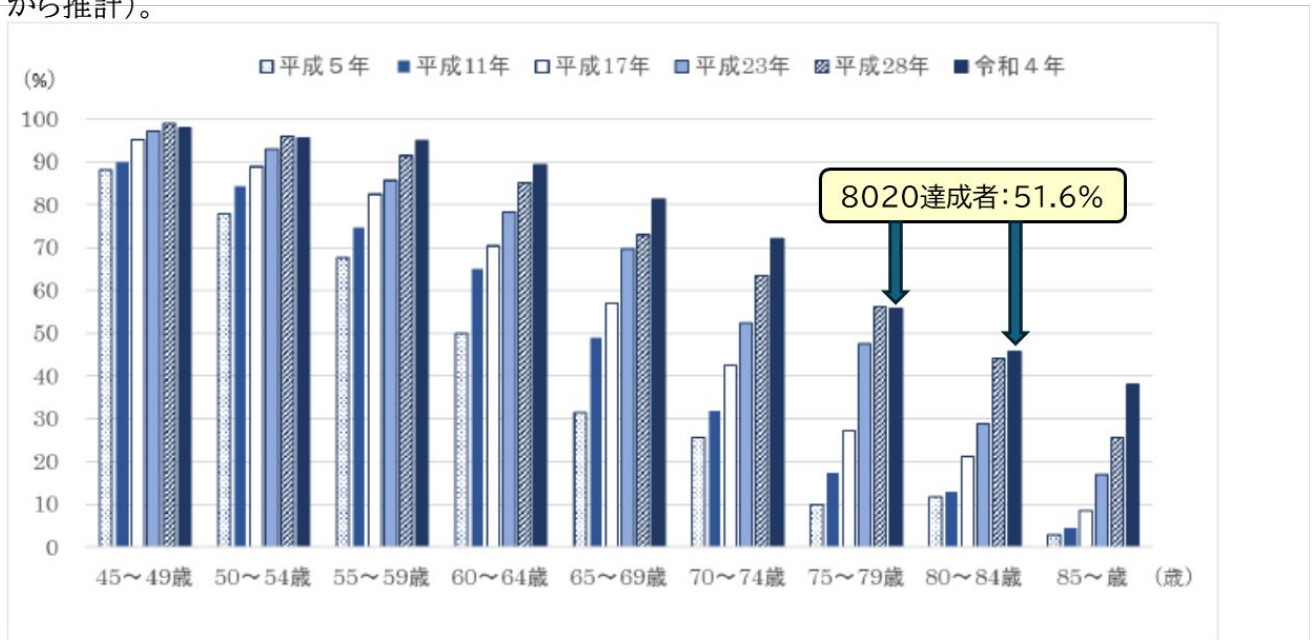
以下の課題についてのあなたの考えを 600 字～800 字で書きなさい。

図1に示すとおり令和4年11月～12月に実施した「歯科疾患実態調査」の結果、80歳になっても自分の歯が20本以上ある8020（はちまるにいまる）を達成した人の割合が、約10年前の平成23年の調査の38.3%から51.6%に増加していることなどが分かりました。この増加した要因と今後さらに8020を達成する人が増加するにはどのようなことが必要と考えますか？

「令和4年歯科疾患実態調査」【図1】

【歯の状況(20本以上歯が残っている人の割合)】

・8020達成者(80歳で20本以上の歯が残っている人の割合)は51.6%であり、約10年前の平成23年の調査結果38.3%から増加している(80歳の割合は、75歳以上85歳未満の数値から推計)。



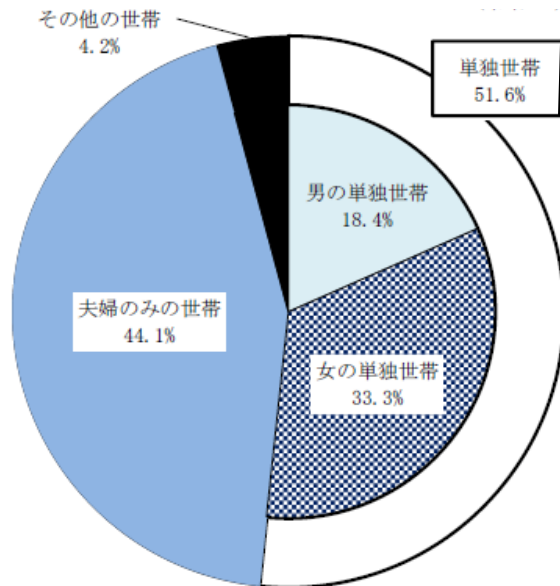
令和4年厚生労働省歯科疾患実態調査の概要より

小論文課題過去問 《一般選抜》

■小論文試験課題：

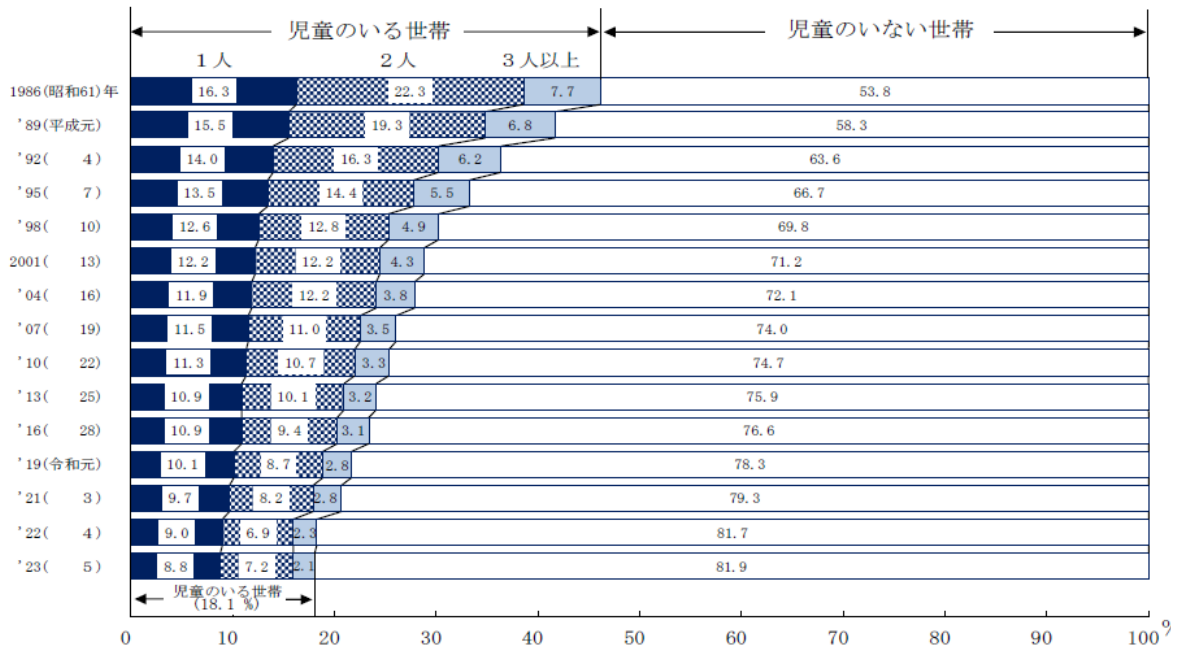
以下に示す 図1・2から考えられる日本の現状や今後起こりうる問題等について
 のあなたの考えを 600 字～800 字で書きなさい。

図1 高齢者世帯の世帯構造



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

図2 児童の有（児童数）無の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

(図1・2：2023年 国民生活基礎調査の概況(厚生労働省)より)

小論文課題過去問《一般選抜》

■小論文試験課題：

以下に示す 図 1～3 から考えられる口腔と全身疾患の関係と口腔ケアの重要性についてのあなたの考えを 600 字～800 字で書きなさい。

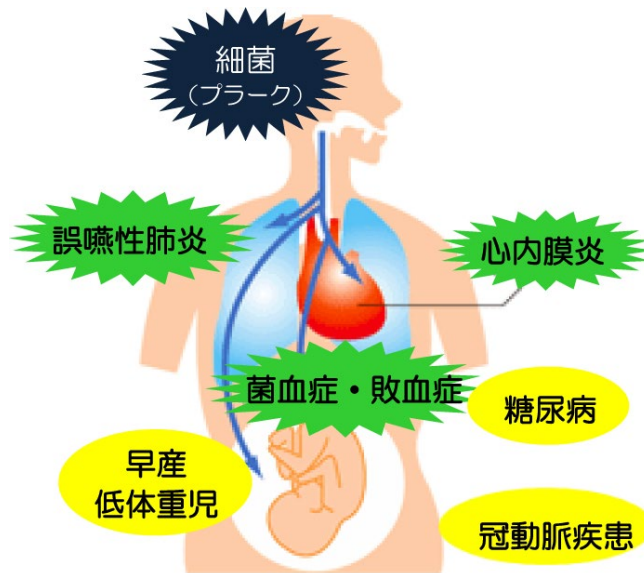


図 1：口腔と全身との関係 中国中央病院 HP より（広報誌青いそら平成 27 年 7 月号）

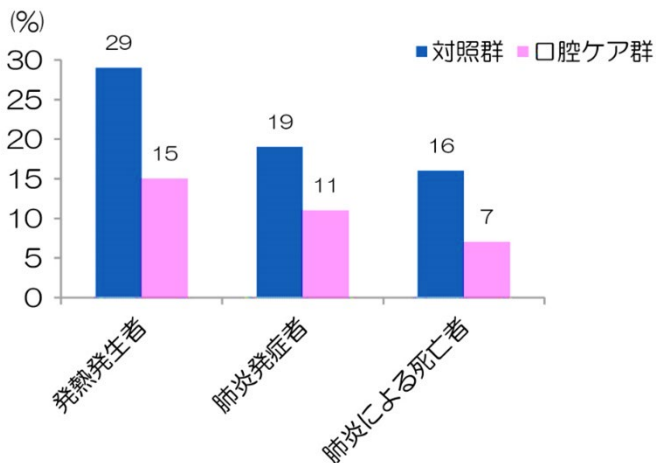


図 2：口腔ケアの誤嚥性肺炎に対する効果

（参考 米山武義他：日本歯科医学会誌 20,58-68,2001）

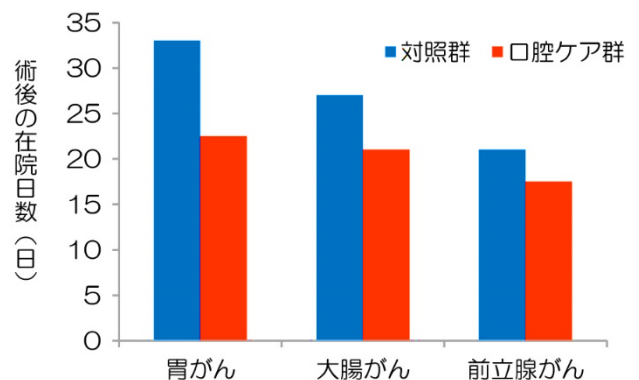


図 3：周術期に口腔ケアを行うと術後の在院日数が短縮

（参考 大西徹郎他：看護技術 51(14),70-73,2005）

■小論文試験課題：

以下の図は、平成 29 年国民健康・栄養調査報告の高齢者の健康・生活習慣状況の結果である。

図 1、2 をみて下記 (1) (2) について 600 字～800 字であなたの考えを書きなさい。

- (1) 「何でもかんで食べることができる」者の割合と 20 歯以上歯を有する者の割合の特徴
- (2) かんで食べるときの状態と低栄養傾向の者の割合の特徴

図 1 「何でもかんで食べることができる」者と歯の保有状況(20 歳以上、男女計・年齢階級別)

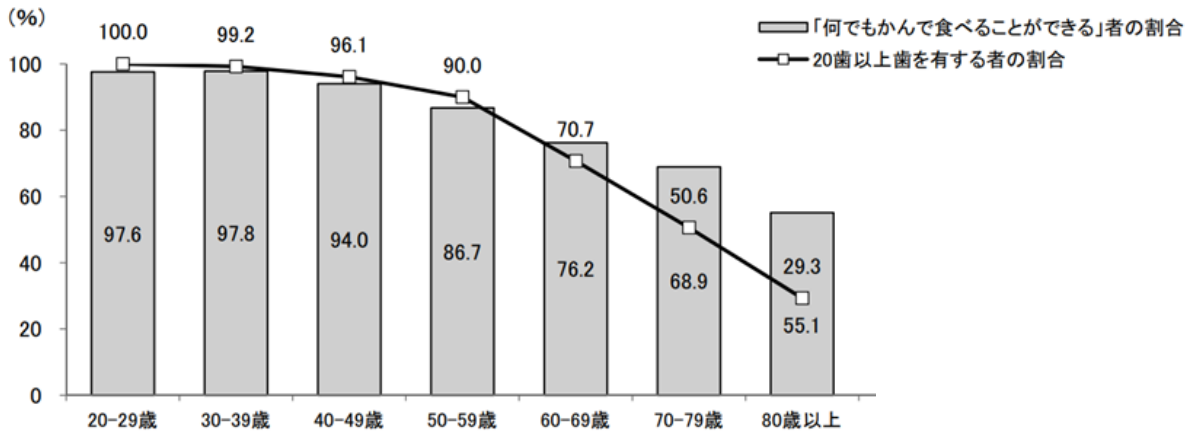
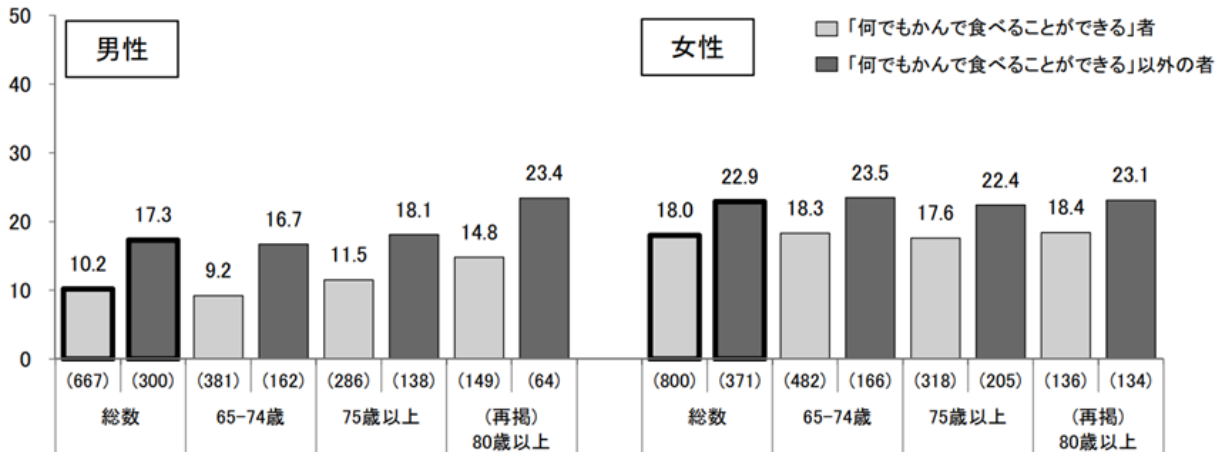


図 2 かんで食べるときの状態別、低栄養傾向の者 (BMI ≤ 20 kg/m²) の割合

(65 歳以上、性・年齢階級別)



※「何でもかんで食べる」以外の者は、かんで食べる時の状態について、「一部かめない食べ物がある」、「かめない食べ物が多い」又は「かんで食べることはできない」と回答した者。